

日経配当指数、16年の最終値 4年連続で過去最高を更新

日本経済新聞社が3日まとめた日経平均・配当指数(2016年)の最終値は327円63銭と、15年に比べ91銭上昇し、データのある1998年以降で最高になった。7年連続で前年に比べ上昇し、4年連続で最高を更新した。

日経配当指数は、日経平均株価の構成銘柄をある年の1月から12月まで保有していた場合に得られる配当額を指数化した。3月末で16年分の配当額が確定し、最終値が決まった。

15年と比較が可能な構成銘柄のうち、増配したのは106銘柄と、減配の36銘柄を大きく上回った。上昇への寄与度が大きかったのは東京エレクトロン(8035)などだった。

決算期が集中する17年3月期末の配当は6月の株主総会後に17年の指数値に反映される。

※日経平均・配当指数についての詳細は[こちら](#)。